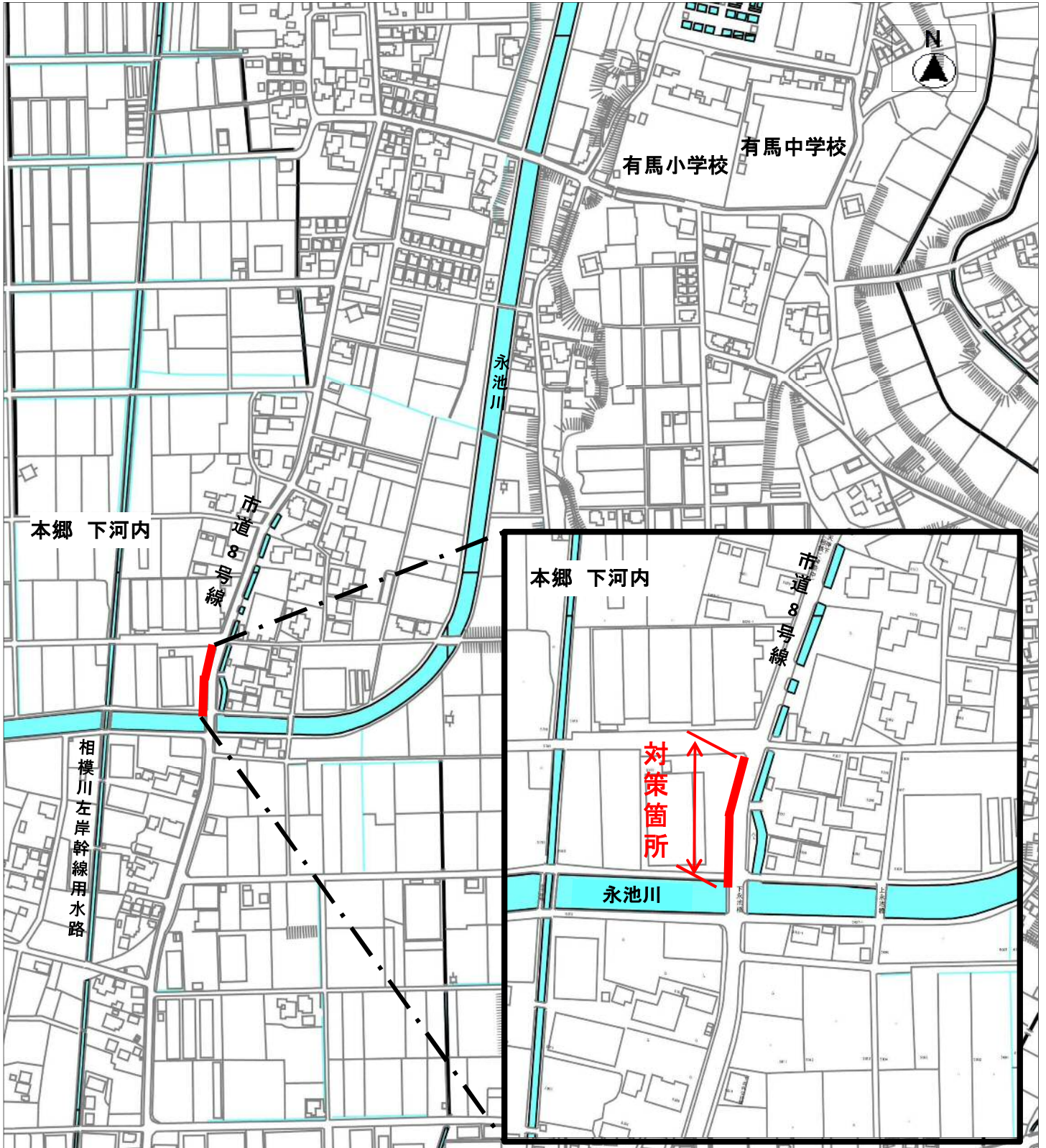


有馬小学校通学路対策箇所図



〔通学路の状況・危険の内容〕

車両の交通量が多く通行速度も高い路線であるが、歩道や歩行者滞留場所がなく、児童と車両が錯綜して大変危険である。

〔対策内容〕

歩道が無い区間に新たに歩道を設置することにより、児童と車両を分離し、安全な通学路の歩行空間を確保する。